

掘削現場、自動機で脱3K

鉦研工業

鉦研工業は建設工事、資源開発向けの掘削・注入機とエンジンリアリ
グ・工事を手がける。目下は工業界の3K（きつい・汚い・危険）イ
メージを払拭（ふっしょく）すべく自動化・省力化装置の開発に力を注
ぐ。今後は地盤調査向け掘削機市場を開拓し、海外工事案件も増やすこ
とで100年企業への足場を固める考えだ。（編集委員・山中久仁昭）

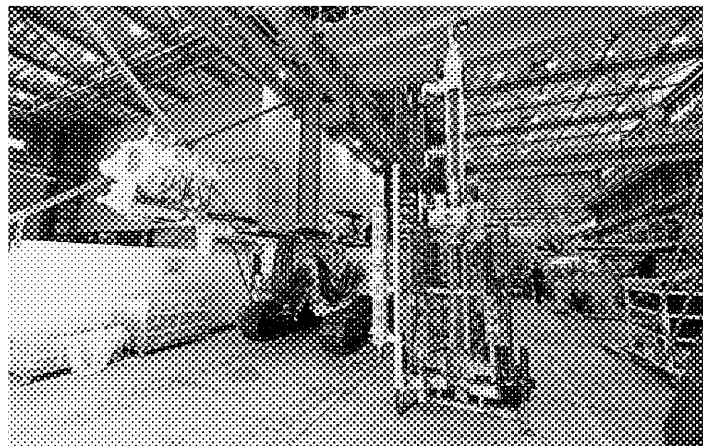


木山社長

鉦研工業の歩みは第二次
世界大戦後の日本とともに
あり、地下資源探査、ダム
建設など折々のニーズに応
えてきた。主力のロータリ
ーパーカッションドリルは

⑤ 未来けん引する NEXTカンパニー

国を挙げて国土強靱（き
ようじん）化が進められる
中、同社は開発テーマに安
全・安心（セーフティ
）、省力化（セーブ）、
顧客満足（サティスファク
ション）の「3S」を掲げ
る。3Kの裏返しで木山隆
二郎社長は「約70年間変わ
っていない現場での作業を
転換する」と意気込む。



鉦研工業の伊勢原工場

注力する地盤調査用は、
ボタン一つで標準貫入試験
ができる小型掘削機「維新
黒船」を年内
に投入する。
三脚やぐらで
の高所作業が
不要となり、
現場は一変す
る。イタリ
アのフラステ
から機械を輸
入し、日本産
規格（JIS）
対応の仕
様に供給す
る予定だ。
山間部のダ
ム工事で活躍
する自動掘削
機も脱3Kマ
シンという位

地盤調査向け・海外市場 深掘り

▽設立47年（昭22）10月▽資本金
11億6541万円▽グループ従業員
数306人（24年3月末）▽連
結売上高約95億2900万円（同）

会社概要

置付け。リモコン操作でボ
ーリングロッドの着脱から
削孔まで行える。基礎工事
会社に数十台納入すべく、
同社の技術指導を受けた。
興味深いのはフラステと
業務提携を結んだ22年下期
に、地盤調査業界向けのツ
ールに強いクリステンセン
・マイカイ（東京都品川
区）を買収したことだ。
「3Kの改善は待ったなし
で、提携でいち早く機械を
出す必要があった。地盤調
査向けを伸ばすには専門企
業の買収が得策と考えた」
と、木山社長はスピード重
視を強調する。

鉦研工業の売上高の約35
%は地下水活用などエンジ
ニアリング・工事部門が占
め、メーカー部門とともに
二つの顔を持つ。注目され
るのがベトナムやインド、
アフリカへの市場調査だ。
「今は堅調な国内市場も20
年後は想像がつかない」
（木山社長）として、現在
約5%の海外売上高比率を
20%以上に伸ばす検討・準
備に入った。

同社は22年6月に神奈川県
伊勢原市で新工場を稼働
した。約30億円を投じ、同
厚木市にあった従来工場に
比べて延べ床面積を1.5
倍に広げ、オフィス環境も
刷新した。建設関連業界の
働き方改革に資するため、
まず足元から生産性アップ
へと加速度を高めていく。

（随時掲載）